

JASMA 会報

2014年4月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催	1
第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会	2
国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM 2016 OSAKA) について	3
当工業会ホームページを一新	3
当工業会事務所を移転しました	4
統計「生産・販売・在庫・輸出入(平成25年1月～12月)」	4

第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催

平成26年3月8日(土)、日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)において、第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式が受賞者、当工業会関係者等約120名の出席のもと盛大に開催されました。

最初に主催者の中村会長から、「今年の34回目のコンクールは、前回は上回る625校から4,787点のご応募をいただき、作品から創作の楽しさ、一人一人の思い、豊かな感性が伝わりとても感激した。今後もミシンを使い、楽しんでいただく方が増えることを期待している。」と挨拶があり、続いてご来賓の経済産業省製造産業局産業機械課長 須藤 治殿から、「日本は工業、ものづくりが経済をリードし、強い競争力を保って日本を豊にしてきた。ものづくりの中でミシンは、早くから国際展開をして世界を相手にしてきた力強い産業である。日本のものづくりは、日本の素晴らしい消費者によって支えられている。」、また文部

科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 望月昌代殿からは、「コンクールの魅力は、ミシンを使って、手縫いにはない機械で縫うことの素晴らしさを生かしたものづくりができることだと思う。作品を拝見し、みずみずしい感性と勢い、エネルギーを感じることができた。ものづくりを通して段取りや改善する力、発想力、想像力、提案力等が身に付いたと思う。」とそれぞれ挨拶をいただきました。

経済産業大臣賞は、須藤課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は望月調査官から小学校、中学校、高等学校のそれぞれ各1校にホームソーイング振興最優秀校として、賞状・賞品が授与されました。

この他優秀賞、アイデア賞については、中村会長から賞状・賞品の授与が行われ、特別賞の全国ミシン商工業協同組合連合会・技術賞は、同連合会の高松理事長から賞状・賞品の授与が行われました。



審査の結果については、本コンクール審査委員会の櫻井純子審査委員長から、「ミシンの機能を良く使い、魅せる作品ではなく着る作品が目立ち、地味ではあるけれど、きちんとした服作りがされている作品が多かった。審査のポイントは、ミシンの機能を使っているか、縫い終わりなどの技術面は正確に行われているか、デザイン、色彩など独創性はあるかなどを見て審査した。」と感想が述べられました。

最後に受賞者を代表して、千葉県立佐倉東高等学校の

早川稀子さんから、「素晴らしい賞をいただき、とても嬉しく思う。気に入った布で作品を作るのだから、丁寧に悔いの無いように仕上げようと制作したのが受賞につながったと思う。これからもこの気持ちを忘れずに、楽しく服作りに励んでいきたい。」と挨拶がありました。

今回は初めての試みとして専門業者による司会進行、映像記録の製作を行い、これまでにない格調高い式典となりました。



須藤治 産業機械課長



望月昌代 教科調査官



櫻井純子 審査委員長



第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会

表彰式が終了した後、日本工業倶楽部内の会場において受賞者とその家族、来賓、学校関係者、会員企業及び報道機関等が参加し受賞者交流会が開催されました。

会場には、経済産業大臣賞5点、優秀賞25点、アイデア賞3点、全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞1点の上位入賞作品が展示されました。

表彰式では緊張の面持ちが見られた受賞者の皆さんでしたが、交流会場では飲物と軽食が用意され、友だち

や家族、学校の先生たちと楽しく談笑するなど和やかな雰囲気に入れ、作品の前で受賞者が家族や友人たちと一っしょに記念写真を撮ったりするなど、明るく賑やかな一時を過ごしていました。

また、会場の一画で受賞者たちのインタビューが行われ、受賞した喜びや作品への思い入れ、製作に係った苦労話などが映像に記録されました。



国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM 2016 OSAKA) について

今回のJIAM2016 OSAKAは、現在、JIAM2016実行委員会を中心に企画、立案を進め、取り組み方を検討して

おります。詳細が決まり次第、随時本会報で紹介してまいりますので、どうぞご期待下さい。



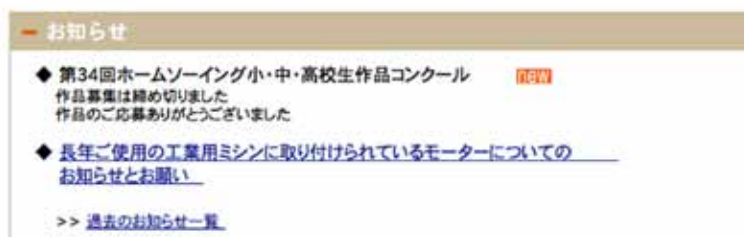
JIAM 2016 OSAKAは、関連分野との協調と連携を図り、工業用縫製機器、家庭用縫製機器に加え、繊維製品、素材、アパレル、ファッション、アクセサリ、副資材、縫製品、自動車航空機関連、インテリア、アウトドア、ライフスタイル、ホームソーイング、IT&ソフトウェア、機能設備機器、流通、物流ロジスティック、環境対応、そして情報サービスなど幅広くグローバルな提案をいたします。

➡ URL:<http://jiam-show.com/>

当工業会ホームページを一新

4月末に当工業会ホームページを一新しました。これまで以上に見やすく、分かりやすくしています。今後とも様々な情報を発信してまいりますので、ご期待下さい。

ご意見等がございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。



当工業会事務所を移転しました

当工業会は、4月29日（火）に事務所を移転しましたので、お知らせいたします。新事務所の所在地、電話番号、FAX番号は次の通りです。

4月30日（水）より、業務を開始いたしましたので、よろしくお願いいたします。

事務所所在地 〒105-0004 東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
電話番号 03-6435-8190
FAX番号 03-6435-8192
業務開始日 平成26年4月30日（水）
Eメール info@jasma.or.jp（従来通りで変更はありません。）

統計「生産・販売・在庫・輸出入（平成25年1月～12月）」

（単位：台、百万円、％）

	生産		販売		在庫	輸出		輸入	
	数量	金額	数量	金額	数量	数量	金額	数量	金額
家庭用ミシン	56,411	3,009	56,809	3,071	115	262,651	3,059	954,308	8,772
前年比	101.8	115.3	102.6	117.4	19.5	114.3	134.6	109.7	106.9
工業用ミシン	99,283	25,577	159,545	30,804	12,735	167,162	30,627	41,608	3,510
前年比	69.8	98.9	98.8	113.3	107.2	97.6	112.1	97.7	122.5
合計	155,964	28,586	216,354	33,875	12,850	429,813	33,685	995,916	12,282
前年比	78.8	100.4	99.8	113.7	103.1	107.2	113.8	109.1	110.9

資料の出所／生産、販売、在庫：経済産業省生産動態統計 輸出入：財務省通関統計

編集後記

会報にもありますが、工業会の事務所が4月30日から移転いたしました。

新橋駅からも徒歩約10分と大変便利な場所です。東京出張の際は是非ともお気軽にお立ち寄りください。

また、ホームページも一新して見やすくなり情報発信を充実させました。これからも工業会と会員の皆さま、そして業界関係の方々とのコミュニケーションをより一層深めていきたいと思っております。

引き続きご支援のほどお願いいたします。

(I.T)

JASMA 会報

Vol.11 No.1 2014年4月30日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <http://jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、当工業会ホームページに掲載しております。